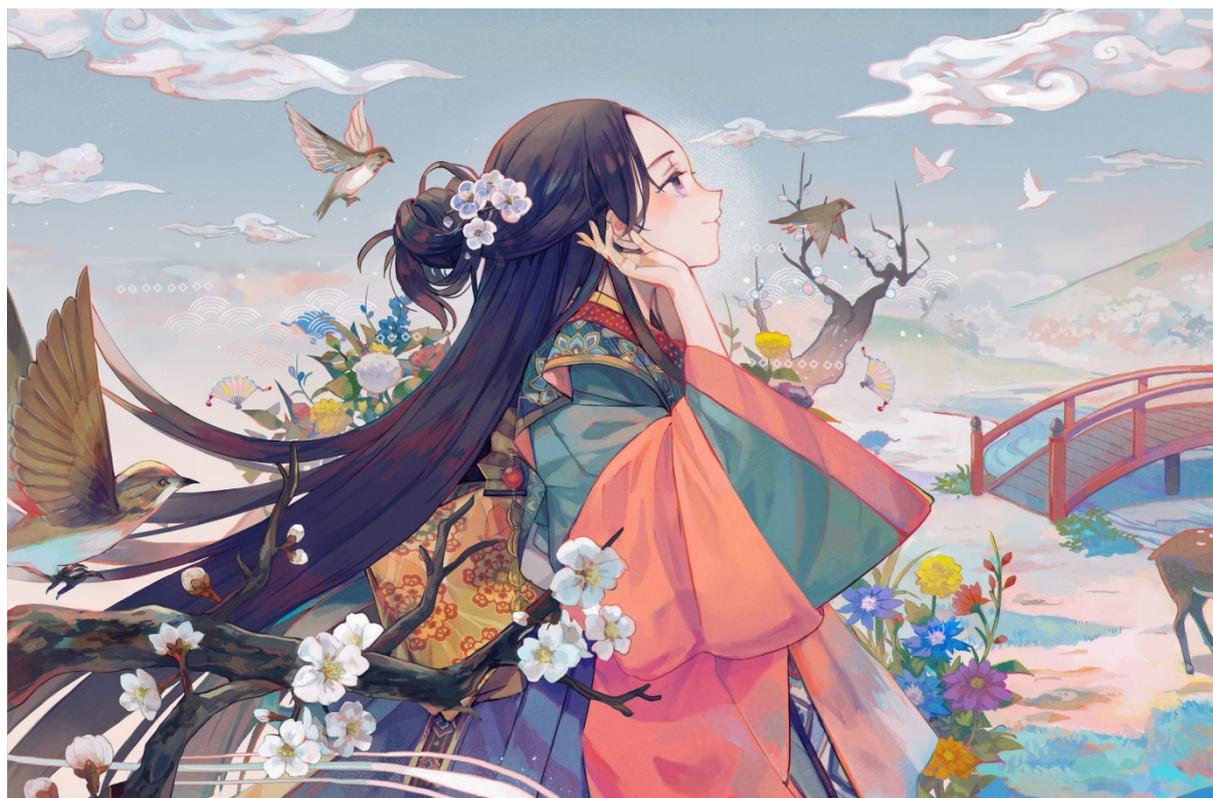


# 令和 *-UME no UTAGE-*

／ はるひの *with DODOWAKA*

“万葉集 × EDM”



## 最古の J-POP の歌詞と、最新のダンスミュージックのコラボレーション

1300 年前より、日本人が、想い人へ心を募らせ、四季を愛で、紡いできた日本最古の和歌集「万葉集」の歌世界を、最先端のダンスミュージックで奏でる、独創的なプロジェクトが始動！

当時の日本人の恋愛・孤独・家族愛などが描かれた「万葉集」を、最古の J-POP として解釈すると、その想いは、おどろくほどに現代の日本人にも通じるものだった・・・

オリジナルの歌が持つ 5 7 5 7 7 の和歌のリズムは尊重しながらも、強さを感じる言葉を繰り返したり、同じテーマの歌をつないだり、また現代の言葉で歌詞を補ったり・・・自由な発想で、歌人が詠んだ想いを想像し、ふくらませていただきました。誰も聴いたことがないのに、どこかで聴いたことがあるポップミュージック「万葉集 EDM」をお楽しみください！

(株) JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント ストラテジック部

〒150-0011 渋谷区東 1-2-20 渋谷ファーストタワー9F TEL: 03-5467-3195 (担当: 森谷)

**[more info.]** <https://www.jvcmusic.co.jp/dodowaka/>

## 万葉集 (まんようしゅう) :

「万の言の葉」を集めた、日本最古の和歌集。「令和」の出典となり、一躍脚光を浴びる。天皇・貴族から下級官人・防人など様々な身分の人間が詠んだ全 20 巻 4540 首。770～780 年 (奈良時代の終わり頃) 大伴家持らによって編纂された。

## EDM (Electronic Dance Music) :

2000 年代後半から世界的に急速に拡大。「ドロップ」という歌のない大サビを持つ POP な音楽性が特徴。

### <アーティスト・プロフィール>

「DODOWAKA (ドウドウワカ)」は、堂々と和歌をやろうという意味。DJ & Key、トラックメイク、作曲の上野紘史 (ひろし) を中心としたプロジェクト。東京藝大音楽環境創造科卒という経歴ながら、フェイバリット・ミュージシャンに小室哲哉の名前をあげるなど、POPS の粋を尽くしたサウンドに定評がある。

「はるひの」は和歌の枕詞から命名。人々を春の陽射しのように笑顔や癒やしで包んであげたいという意味。ボーカル担当は Aya と Shohei (M-3)。2018 年 10 月より、万葉集を EDM にアレンジしたオリジナル楽曲「来むとは待たじ」をバックに踊る“こむこむダンス”動画で TikTok に投稿を開始し、再生回数 1,200 万超え。当時高校生だった Aya と Yuki (Cho 担当) が 2 人で踊る動画が、「進歩してるぞ涙でる」「続けることが大事なんだな、それを実感」と同世代のファンに支えられて、人気を得た。

2016 年より「万葉集 EDM」制作開始。「知らぬ恋」「時わかず泣く」「月の舟」「来むとは待たじ」「たまとひろわん」「恋ひ恋ひて」「闇の夜」「恋ひは益すとも」「君待つと」etc.

2017 年 10 月、日本橋三越「おんがくのカフェ」にて毎週金曜日上野紘史セッションスタート、アコースティックバージョンで「知らぬ恋」「月の舟」「たまとひろわん」「恋ひ恋ひて」披露

2018 年 10 月「はるひの」TikTok に「来むとは待たじ」ダンス動画の公開開始

(以降、定期的に“こむこむダンス”の動画をシリーズで公開)

2018 年 12 月 29 日「来むとは待たじ来じというものを / DODOWAKA」配信リリース

2019 年 4 月 13 日「来むとは待たじ / はるひの & DODOWAKA」配信リリース



Shohei

Aya

上野紘史

<イラストレーション & Music Video>

「万葉集 EDM」の世界をさらに広げるために、絵師「緋原ヨウ」とコラボレートした Music Video を制作。配信用ジャケット写真も MV 用に制作した絵巻からの1枚。

緋原ヨウ：

千葉県出身のイラストレーター。ゲーム「あやかし陰陽録」「陰陽おとぎソール」メインイラストレーター、書籍「緑王の盾と真冬の国」(KADOKAWA) イラスト等、多数のキャラクターデザイン、イラストを手がけている。



<第1弾：配信作品> 2曲リリース

★令和の幕開けを祝う宴=パーティーチューン!!!

(M-1) 令和 -UME no UTAGE-

作詞：葛井連大成（ふちいのむらじおほなり）、田氏肥人（でんしのうまひと）、山上憶良（やまのうえのおくら）、

陰陽師礒氏法麿（おんやうしぎしののりまる）、筑前介佐氏子首（ちくぜんのすけさしのこおびと）

作曲・編曲：上野紘史 演奏：はるひの with DODOWAKA

<歌詞>

梅の花 今盛りなり 思ふどち 挿頭(かざ)しにしてな  
梅の花 今盛りなり 今盛りなり

百鳥の声の恋しき 春来たるらし  
百鳥の声の恋しき 春来たるらし

Dance for joy! 春されば まづ咲く 庭の梅の花  
Ah 独り見つつや 春日暮らさむ 春日暮らさむ 春日暮らさむ

令和に春日暮らさむ Turn up, turn up, all day long!  
令和に春日暮らさむ It's our time to sing along!

梅の花 手折り挿頭して 遊べども 飽き足らぬ日は  
遊べども 飽き足らぬ日は 今日にしありけり

万代に 年は来経とも 梅の花 絶ゆることなく  
万代に 年は来経とも 咲き渡るべし

Dance for joy! 春されば まづ咲く 庭の梅の花  
Ah 独り見つつや 春日暮らさむ 春日暮らさむ 春日暮らさむ

春日暮らさむ 春日暮らさむ



■解説：令和の典拠となった「万葉集」巻5 梅花 32 首より、5 首を歌詞に引用しています。

## 1 番

**A メロ：** 梅の花 今盛りなり 思ふどち 挿頭にしてな 今盛りなり

(うめのはな いまさかりなり おもうどち かざしにしてな いまさかりなり)

葛井連大成 (ふちいのむらじおほなり) 巻 5-820

意味：梅の花は 今が盛りだ 親しき人々よ 頭髪に挿して飾ろう。今が盛りだ。

解説：「今盛りなり」を二度繰り返していますが、これは梅の花が今盛りであると同時に、大成たち、宴の席の人々もまた今が盛りなのだと言祝 (ことほ) いでいるのでしょう。

**B メロ：** 梅の花 今盛りなり 百鳥の 声の恋しき 春来たるらし

(うめのはな いまさかりなり ももどりの こえのこほしき はるきたるらし)

田氏肥人 (でんしのうまひと) 巻 5-834

意味：梅の花は 今が盛りだ 鳥々たちの 声も恋しい 春がやって来るらし。

解説：「春来たるらし」とはこの時代、季節は神々が連れて来るものと考えられていたのも、そんな季節を運んでくる「まれびと神」の到来を祝う伝統的な内容を踏襲した歌でもあります。「百鳥」は様々な鳥のこと。

**サビ：** 春されば まづ咲く庭の 梅の花 独り見つつや 春日暮さむ

(はるされば まづさくにわの うめのはな ひとりみつつや はるひくらさむ)

山上憶良 (やまのうえのおくら) 巻 5-818

意味：春になると まず最初に咲く梅の花を わたしひとりで見て 春の日を過ごすなど

(どうして出来ようか・・・)

解説：梅の花はひとりで楽しんで意味が無いのだと、この宴の皆と過ごすひとときを喜ぶ内容。

## 2 番

**A メロ：** 梅の花 手折り挿頭して 遊べども 飽き足らぬ日は 今日にしありけり

(うめのはな たをりかざして あそべども あきたらぬひは きょうにしありけり)

陰陽師 磯氏法麿 (おんやうし ぎしののりまる) 巻 5-836

意味：梅の花を 手折りかざして 遊んでいても 飽きることない日は 今日なのだなあ。

解説：「陰陽師」は卜占を行う者。磯氏法麿については、詳しいことはわからないようです。この宴の一日の飽きることない楽しさを素直な表現で詠った一首。

**B メロ：** 万代に 年は来経とも 梅の花 絶ゆることなく 咲き渡るべし

(よるづよに としはきふとも うめのはな たゆることなく さきほこるべし)

筑前介佐氏子首（すけさしのこおびと） 巻 5-830

意味：万年の年を経るとも 梅の花は 絶えることなく 咲き続けるがよい。

解説：「介」は二等官。「佐氏子首」は不詳。梅の花の絶えることなく咲き続けよとの願いを込めて詠い、こうして見ると、自由な詠いまわしの席でありながら、それぞれが一座の中での自分の歌の役目のようなものを肌で感じ取っているのか、見事にそれぞれの歌を詠い分けていることに驚かされます。この「梅花の歌」32首は、そんな歌の趣を理解する人々の共同作業によって生み出された一種の連作といえるでしょう。

(参照)「万葉集入門」(解説：黒路よしひろ) <http://manyou.plabot.michikusa.jp/>

## ★万葉の時代にもラップがあった！！！！？？？

### (M-2) 来むとは待たじ

作詞：大伴坂上朗女（おおとものさかのうえのいらつめ）

作曲・編曲：上野紘史 演奏：はるひの with DODOWAKA

<歌詞>

来むと言うも 来ぬ時あるを  
来じと言うを 来むとは待たじ  
来むとは待たじ 来むとは待たじ  
来むとは待たじ 来じと言うものを  
来むとは待たじ 来むとは待たじ  
来じと言うものを・・・(来じと言うものを)

■解説：TikTokで1,200万再生超！“こむこむダンス”のバックトラックとしてブレイク！

<引用首>

来むと言ふも 来ぬ時あるを 来じと言ふを 来むとは待たじ 来じと言ふものを

(こむといふも こぬときあるを こじといふを こむとはまたじ こじといふものを)

大伴坂上朗女（おおとものさかのうえのいらつめ） 万葉集 巻 4-527

意味：来ようと言っても来ないのだから、来ないつもりだというのを、来るだろうかと待つことはしません。  
来ないつもりだと言っているのですから・・・

解説：頭韻（句の頭）の音が「こ」。脚韻（句の終わり）が「オ段」の音（第四句を除く）という、韻とリズムを楽しむ早口言葉のような和歌。「こ」という音がフレーズの頭につねにあり、それを楽しむ「戯れ歌」として読まれたとされていますが、歌の中に虚実を織り交ぜたセンスが光ります。



## ★恋の悩みは古来同じ？ 時空を超えたラブソング！！

参考音源：第2弾リリース作品（配信日未定）

### (M-3) 恋ひ恋ひて

作詞：大伴坂上朗女、三谷翔平 作曲・編曲：上野紘史 演奏：はるひの with DODOWAKA

<歌詞>

(女)

「なんでもないよ」と 今日もそっけないのね  
やっと会えたのに うれしいの？ つまらないの？  
まさか うぬぼれてるの？ くじけそう 胸が痛い  
ふたりたどりついたんじゃないんだから

(男女)

\*ああ 恋ひ恋ひて 恋ひ恋ひて  
逢へる時だに 愛しき言 尽くしてよ  
恋ひ恋ひて 逢へる時だに 愛しき言 尽くしてよ  
長くと思はば 思はば

(男)

「わざとらしくて」 自分が思うことを  
なんだか今さら伝えるなんて 苦手なんだ  
一緒にいること ほらね それだけで 僕らは  
ずっとやっていけそうなんだから

\*くりかえし

■解説：切ない想いは今も昔も変わらない！？ “草食男子” への不満を詠んだ和歌に  
現代の歌詞を補い、時空を超えた男女デュエットソングが誕生しました！

<引用首>

## 恋ひ恋ひて 逢へる時だに 愛しき 言尽くしてよ 長くと思はば

(こいこいて あえるときだに うるわしき ことつくしてよ ながくとおもわば)

大伴坂上朗女 (おおとものさかのうえのいらつめ) 万葉集 巻 4-661

意味：ひたすら恋い慕って、やっと逢えたときぐらいは、どうか愛の言葉を尽くしてください。

この恋を長く続けたいと思うのであれば。

解説：

この歌は、大伴坂上朗女 (おおとものさかのうえのいらつめ) が次女に成り代わって、婿である 大伴駿河麻呂 (おおとものするがまる) に贈ったものであるとされています。「言葉を尽くして愛を語って欲しい」と、恋心をつのらせている主人公。燃えるような恋心を歌っているながら、同時に男性に「長く続けたいと思うのなら」と諭しています。女にとって恋とは言葉なのよ、しっかりしなさい、と母たる自分のおメガネにもかなった求婚者を諭してもいます。

## 言の葉に紡がれた「大切な想い」が、1300 年の時を越え EDM でよみがえる！

「万葉集 × EDM」。プロデューサーの海老原さんから僕が初めてそのプロジェクトについて聞かされたのは、2017 年の夏のことでした。

万葉集を“最古の J-POP”として解釈し、それを最新のダンスミュージックにのせるというコンセプト。その斬新なアイデアに、「確かに様々な身分の人が詠んだ万葉集は、当時の J-POP と言えるのかも…」と感心しつつも、ゆったりとしたイメージの万葉集とアップテンポな EDM をどうやって MIX するのか想像が付きませんでした。

だけど、すでに出来上がっていた楽曲を聴いて、一気にそのとりに！

EDM と聞いて、バリバリのクラブミュージックを想像していたけれど、ほどよくポップス寄りにアレンジされていて、聴いていてとても心地いい。この軽快なエレクトリックサウンドとちょっと切ないメロディーは、小室哲哉のサウンドに通ずるものがあるぞ。

もともと TM NETWORK の時から小室サウンドの大ファンで、90 年代に一世を風靡した小室ファミリーの楽曲も大好きでよく聴いていた僕の耳には、その音が一瞬でなじみ、いつの間にか体でリズムをとり口ずさんでいたのです。

気持ちよくそのメロディーに身をゆだねていると、

「あれ？俺、この万葉集の歌の意味、なんか理解できてないか？」

そう。不思議なことに、普通に文字で万葉集の歌を読んでも、その意味をなかなか理解できないのに、EDM の楽曲にのった瞬間、歌の世界観がビジュアルをともなってイメージできる。恋心を詠んだ切ない言葉がリフレインされ、たちまち現代の言葉として心にずっと沁みってくる。

歌のイメージがどんどん広がり万葉の世界にトリップできるその不思議な感覚に、「日本語ってキレイだな」と柄にもないことを感じながら、またたく間に、新しいのにどこか懐かしさを感じさせるこの楽曲のとりになりました。

新元号「令和」の典拠として一躍注目度が高まった万葉集。だけど、まだちょっと敷居が高いと感じている人も多いはず。そんな人はぜひ「はるひの with DODOWAKA」の「万葉集 × EDM」を聴いて、1300 年前の人々と心をつなげてみよう！きっと、今も昔も「人の想いは変わらない」ということを感じられるはず。

日本最古の和歌集と最新のダンスミュージックのコラボレーションは、1300 年前の人々と令和の時代を生きる僕らをつなげる、新しいカタチなのかもしれない。

ボカロや新海誠の世界観が好きな人は絶対にハマるはず！

保田和寛

編集者。2000年代に一世を風靡した伝説の雑誌『men's egg』編集長を経て、現在は、株式会社 学研プラス(図鑑・辞典編集室 エンタメ学びチーム)にてエデュテインメントをテーマに書籍の編集に携わっている。

DODOWAKA 上野紘史インタビュー

——初級編ですが EDM とは何の略ですか？

上野紘史(以下、上): EDM はエレクトロニック・ダンス・ミュージックの略です。

——有名なアーティストは誰ですか？

上: EDM の立役者とも言える David Guetta はもちろん、Calvin Harris、ZEDD、Martin Garrix や昨年亡くなってしまった Avicii などですね。

——どのような形式の音楽をさすものですか？

上: 広義にはエレクトロニックなダンスミュージックという事ですが、特に EDM というワードで語られる時の音楽形式には2000年代後半から出てきた形式で「ドロップ」という歌のない大サビがあるというのが最大の特徴です。EDM は大きく分けるとハウスミュージック、いわゆる四つ打ちダンスミュージックの系譜と、ハードロックやパンクの系譜、ヒップホップの系譜と三つに分かれますが、どの系譜でもこの「ドロップ」という部分があるのが特徴です。

——上野さんが EDM に初めて接したのはいつ頃で、その時の印象は？

上: 2010 年代に入った頃からです。それまでもともとダンスミュージックは好きで、主に高校生の時からトランスミュージックなどを制作していましたが、EDM を初めて聴いた時はそのポップさと展開のうまさに驚きと興奮を覚えました。

——上野さんにとって EDM の魅力とは？

上: みんなで歌ったり踊ったりすることができるというところですね。歌メロはもちろんですが、特に歌メロ以外のところをみんな歌うんです。それだけ大サビのシンセメロに魅力があるということなんです。

——2017 年にカルヴィン・ハリスを「サマソニ」で見たそうですが、どんな印象ですか？

上: カルヴィン・ハリスはなかなかフェスなどには出演しないアーティストで、来日もかなり久しぶりだったんですね。世界 No.1DJ でもあるので、絶対に見たいと思って見に行きました。すでに「万葉集×EDM」が動き出していましたので、アーティストとしてとても刺激を受けましたね。EDM でない方向性の曲もリリースするような多様性のあるアーティストなので、どんな音をやめるのか観客もいろいろ期待していたと思います。当日はバリバリの EDM をやっていて、それだけに賛否両論となっていましたね。しかし僕としてはフロアに集まった踊りたいと思っているお客さんの期待に答える、これが DJ カルヴィン・ハリスなのだという風に思え、とてもよかったです。

——今年 2019 年はチェインスモーカーズが「サマソニ」に出ますが、彼らをどのように見えていますか？

上:チェインスマーカーズは EDM に新しい流れを作りました。それは BPM をぐっと落として四つ打ちではない、どちらかというと Hip-Hop の溪流にあるリズムでドロップを作ったことです。メロディーもとても美しいもので、今までにない新しい EDM として多くの人に受け入れられましたね。

——EDM のトラックメイカー/DJ たちは上野さんにとってどんな存在ですか？

上:世界で活躍するトラックメイカー/DJ たちは、ダンスミュージックとしての大切なノリを重視しながらも、美しいメロディを作り、自分の楽曲で観客を踊らせています。彼らの強みは単なる「DJ」ではなく「Producer」つまりトラックメイカーなんですね。このいい曲を作った人を生で見たい、その人の DJ で踊りたいという風に観客は思っってライブに足を運びます。良い曲を作る人がいつの時代も支持され、人を感動させるのだと思います。

——上野さんご自身はピアニストですが、今の EDM は結構生音も使っていますね？

上:そうですね。Avicii がカントリーミュージックを EDM に導入した功績は大きいですし、Clean Bandit がチェロやバイオリンなどを取り入れた EDM を作ってヒットさせたのも大きいですね。大事なのはどんな音でも人を踊らせるような構造と音作り、メロディー作りをすることだと思います。

——歌もの EDM の YouTube 再生数は億単位の作品が大量にあります。日本からその様な EDM 作品が生まれる可能性はありますか？

上:あると思っって創っています。EDM は元々ヨーロッパが発祥です。昨年末ヨーロッパ最大のフェス、ハンガリーの首都ブタペストで開かれる「Sziget Festival(シゲット・フェスティバル)」の日本の関係者が僕たちを見に来てくれて大変気に入ってくれました。ヨーロッパには日本的なものを嗜好する人たちが沢山いるので、僕たちがそんなきっかけになればとも思っっています。

——そんなフェスがあるんですか？もう少し詳しく教えてください。

上:約 1 週間の期間で開催されるビックフェスで、さっき述べていたような著名 EDM アーティストも多数出演しています。フジロックのように宿泊もできるですよ。日本語サイトはないので残念ですが。

——さて今回の DODOWAKA「万葉集×EDM」についてお聞きします。57577の和歌がどのようにして EDM と掛け算できたのですか？

上:まず和歌を歌にしようと思っくと明らかに歌詞が足りないんですね。57577だけですから(笑)。少し困ったなと思っっていたら、プロデューサーで我が社の社長が、和歌の57577の形式をもっと自由に、ただそのまま歌うのではなく、一部をリフレインさせたり、あるいは現代語を用いてもよいし、自由に作ってみたらと提案してくださって。たしかによくみると、洋楽 EDM の歌詞は一部をリフレインさせていたりして、歌詞が短いものも多いんですね。EDM と和歌の親和性を感じた瞬間でした。

——5 首の和歌を使用した曲もありますね？

上:はい。今回の「令和 -UME no UTAGE-」は 5 首の和歌を使っっています。梅と春の訪れに関する歌を中心にまとめられた万葉集第 5 巻の 32 首の和歌の中から選びました。

——「令和 -UME no UTAGE-」は EDM 的には？

上:BPM は 128。EDM で一番良く使われるテンポです。「ビルドアップ」にラップや擬音を使っって、最大の盛り上げを「ワッショイ！」に持っっていくように構築しました。

——万葉の和歌を見て曲ができるパターンですか？

上: はい、詞先です。元々詩先は好きです。先に世界観があると自然と曲が湧いてくることが多いので。

——「恋ひ恋ひて」は EDM 的には？

上: トロピカルハウスを意識しました。トロピカルハウスとは、少しゆっくりとしたテンポで、南国風な楽器の音色を使ったハウスミュージックの事です。「恋ひ恋ひて」では、リードシンセの音色を温かみのある音にして、和歌の持っている「切なさ」をより深く感じてもらえるよう練ったつもりです。